

ASK ニュース

Vol.0179

2015年11月9日(月)
担当：MS事業部 玉井

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

「大放言」のなかに真実あり

はじめに

百田尚樹氏の「大放言（新潮新書）」を読みました。思考停止の世間に一石を投じる主張がたくさん掲載されています。マスコミの報道や平和ボケした世間の風潮に惑わされず、物事を捉えるためにこの本を読みました。

放言ではなく、正論である

この本のタイトルは、「大放言」となっていますが、内容は放言ではなく、正論が書かれています。いかにマスコミが事実を切り取り、歪曲して報道しているかが良くわかります。やはり情報はテレビ、新聞だけでなく、自分で収集しなければならぬと考えさせてくれる1冊です。



物事を柔軟に考えるきっかけになる

マスコミだけでなく、現代の若者や外交問題に対しても鋭い指摘をしています。なかでも、安保法案に反対する人たちへの指摘として、「子供や孫が戦争に行つて血を流してしまう」と騒いでいるが、反対に戦争によって日本国土に他国が侵略してきて自分たちの子供や孫が襲われることについては触れられておらず、欠落しているという指摘はその通りだと思いました。戦争を防ぐという抑止力としての大事な機能についてもっと報道がされなければならないと思います。

また報道に頼らずとも、自ら反対側の状況についても柔軟に考えられるようになりたいものです。

終わりに

過度な言葉狩りが行われたり、何でも自粛する風潮が強い現代です。正しいことが報道されない、正しいことを言えない社会は、弱い国家をつくってしまいます。百田氏の発言が注目されない社会が正常な社会だと思います。

皆様も是非とも、この本を読んでご自身の物事のとらえ方を広げてみてはいかがでしょうか？